



® 平成31年 2月 15日 (金)
No. 14872 1部370円 (税込み)

発行所

一般財団法人 経済産業調査会

東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

郵便番号 104-0061

[電話] 03-3535-3052

[FAX] 03-3567-4671

近畿本部 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4

(MF天満橋ビル8階) [電話] 06-6941-8971

経済産業調査会ポータルサイト <http://www.chosakai.or.jp/>

特許ニュースは

- 知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円
(税込み・配送料実費)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

目次

☆地域における観光と知的財産の関連性 (40) … (1)

☆知的財産研修会(職務発明規程の変更並びに
一括払い方式の導入及び遡及適用の実務) … (11)

地域における観光と知的財産の関連性 (40)

東京理科大学経営学研究科

教授 生越 由美

第5章 地域における事例

37. 兵庫県豊岡市(とよおかし)(商標権)

兵庫県は南北に長い県域を持ち、近畿地方の府県で最大の面積を持っている。日本海と瀬戸内海の2つの海に接している県でもある。日本で2つの海に接している県は、青森県、山口県と兵庫県の3県のみである。

本州を陸路で縦断するときは兵庫県を必ず通過

しなければならないという交通の要諦である。また、県中央部には中国山地が東西に横たわり、交通の難所でもある。そして、日本標準時子午線(東経135度)を通る明石市を擁している。

江戸時代には、「摂津国」に尼崎藩・三田藩、「丹波国」に篠山藩・柏原藩、「但馬国」に出石藩・豊岡藩、「播磨国」に姫路藩・林田藩・明石藩・龍野藩・赤穂藩・三日月藩・小野藩・三草藩・安志藩・



杉村萬国特許法律事務所

SUGIMURA & Partners

創業1923年

代表弁理士 杉村 憲司 代表弁護士 杉村 光嗣

杉村 興作
鈴木 治
寺嶋 勇太
吉澤 雄郎
柿沼 公二
門田 尚也
市枝 信之
田中 睦美
鹿山 昌代

塚中 哲雄
福尾 誠
結城 仁美
小松 靖之
神 紘一郎
加藤 正樹
君塚 絵美
宮谷 昂佑
北村 慎吾

澤田 達也
齋藤 恭一
川原 敬祐
伊藤 怜愛
坂本 見太郎
朴 瑛哲
井上 高雄
廣 昇
伊藤 佐保子

富田 和幸
池田 浩
岡野 大和
片岡 憲一郎
西尾 隆弘
真能 清志
辻 啓太
鈴木 裕貴
岡本 岳

下地 健一
吉田 憲悟
前田 勇人
田中 達也
石川 雅章
石井 裕充
塩川 未久
Stephen Scott

大倉 昭人
山口 雄輔
坪内 伸
高橋 林太郎
色部 暁義
鈴木 俊樹
鈴木 麻菜美
水間 章子

粟野 晴夫
中山 健一
甲原 秀俊
福井 敏夫
色部 暁義
鈴木 俊樹
鈴木 麻菜美
貴志 浩充

河合 隆慶
村松 由布子
太田 昌宏
酒匂 健吾
田浦 弘達
内海 一成
大島 かおり
山本 睦也

所員190名うち弁理士67名、弁護士2名、欧州弁理士1名

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館36階 E-mail: DPATENT@sugimura.partners
電話: 03-3581-2241(代表) FAX: 03-3580-0506 URL: <https://sugimura.partners/>

山崎藩、「淡路国」に阿波藩（阿波徳島藩）など多くの藩が存在した。このように、兵庫県は「7つの県境、6つの方言、5つの旧国、4つの新幹線駅、3つの空港、2つの海を持つ、1つの県」という多様性を内包した県である。

今回は但馬国にあった「豊岡市」を中心に考察する。豊岡市は、2005（平成17）年4月1日、兵庫県の北東部に位置する1市5町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併して成立した。

この市は、兵庫県の北部（但馬地域）に位置する市で、豊岡都市圏を形成する県北部の中心都市であり、兵庫県で最も面積が大きい市でもある。日本で最後の野生コウノトリの生息地として知られ、保護・繁殖・共生の事業が行われている。

図1：豊岡市



(2) 歴史²

(1) 地理¹

市の中央部を円山川が流れ、市内中央部には但馬最大の盆地である豊岡盆地が広がる。海岸は山陰海岸国立公園に属しており、また全域が「山陰海岸ジオパーク」に含まれる。

市域の約8割を森林が占めており、北は日本海、東は京都府に接し、中央部には母なる川・円山川が悠々と流れている。

海岸部は山陰海岸国立公園、山岳部は氷ノ山後山那岐山国定公園に指定され、多彩な四季を織りなす自然環境に恵まれている。

2005（平成17）年9月、国指定の特別天然記念物・コウノトリが自然放鳥され、人里で野生復帰を目指す世界的にも例がない壮大な取り組みが始まった。

産業は、農林水産業、観光業などが盛んである。特に観光業では、全国的に有名な城崎温泉をはじめ、西日本屈指の神鍋スキー場、但馬の小京都・出石城下町などを有し、年間の観光客は420万人以上にのぼっている。また、地場産業としては、全国の4大産地の一つである「かばん」や「出石焼」などで有名である。

人口は82,250人、世帯数は30,189世帯（平成27年国勢調査）、面積697.55平方キロメートルの地域である。

「豊岡盆地」は、人類の歴史が始まったころに干陸化し平地になったといわれている。海拔5メートル以上の盆地周辺からは貝塚や縄文遺跡などが数多く発見されており、旧石器時代に人々が住み着いていたことが推測される。

1913（大正2）年に発見された「中谷貝塚」からは縄文時代の人々の重要なタンパク源だった貝類をたくさん摂取していたことが判明した。また、生活用具である土器、石器が多数出土されている。

この地には、大化の改新の頃の「条里制跡」が残っている。741（天平13）年、聖武天皇により国分寺の建立の詔が出された。但馬国分寺、国分尼寺は気多郡（豊岡市日高町）に建立された。804（延暦23）年、但馬国府が気多郡高田郷（豊岡市日高町）に遷された。

10世紀初頭に編纂された『延喜式』によると、豊岡市を含む「但馬地域」は当時の都である京都に近接しているという地理的關係である「近国」と規定されている。また、国の大きさや重要性などから、社会、行政的な関係を示す「上国」に編入されていた。

南北朝時代は、山名時氏が但馬国を掌握し、城之崎（豊岡市）および出石（豊岡市出石町）に拠点を置いた。室町時代は、山名持豊（宗全）により但馬（城崎郡）を中心にして中国地方で栄え、山名氏が最盛期を迎えた。戦国時代は、守護代垣屋氏の勢力が強まり山名氏が衰えた。